

二二二に幸あり

二揚

四六五工 中上四 合老 四上 合工五六五上工 六五工中上四

あ らし も ふ けば あめ も ふる
合 乙老 工 中 合四上 合 四 老乙 老 四上 上

お んな の み ちよ なぜ け わし
四 合四六 五 工 合工上 上中工 四老乙 合 五六五上

き みを たより に わたしは いきる
工 合五六 五王五 合 上 上中工 五六七六五王六 合 六 中上

ここにさ ち あ り あ お い そ ら
四 六五工 中上四 合 老 四 上 合 五六五上工 合工 合

工 合 工合中上四 合 老 四 上 合 上中上四六 合六 七六

上 合 上中上四工 六五工中上四

エンディング
工 合 工合中上四 合 老 四 上 合 上中上 六 合六 七六

上 合 上中上四工

いじに幸あり

二揚

2/2

一、嵐も吹けば 雨も降る
女の道よ 何故険し
君を頼りに 私は生きる
ここに幸あり 青い空

二、誰にも言えぬ 傷の後
1 心に受けた 恋の鳥「
泣いてのがれて さまよいゆけば
夜のちまたの 風「悲し

三、しきん ぬかじや ふちありていて
いん
なさきぬしまや わしたうちな
すでいゆかさにてい うちいわたら
な
たげにさかする はなでむぬ